

## コロナウイルス対策には口腔の健康から!!

新型コロナウイルス（COVID-19）の PCR 検査は、従来、鼻の奥などの粘液を採取する方法がとられていましたが、厚生労働省は検体として唾液を使う方法を認めました。

コネティカット州のイエール大学公衆衛生大学院の研究チームの試験で新型コロナウイルスの PCR 検査の検体として咽頭ぬぐい液よりも唾液の方がウイルスの量が約 5 倍多かったという結果を反映したものであります。

既に米国ニュージャージー州ではドライブスルー方式で唾液採取する PCR 検査法が始まっています。

唾液にウイルス量が多い理由を歯科医師の立場から説明しますと、新型コロナウイルスの入口は鼻腔及び口で、感染後 2～3 日で増殖します。その初発症状のひとつとして味覚障害、嗅覚障害が現れることが判明しました。ウイルスを鍵とすると、鍵穴となる受容体はウイルスの種類によって異なります。新型コロナウイルスはアンジオテンシン変換酵素（ACE2）であり、他の消化・呼吸器に比較して特に口腔の舌や口腔粘膜の細胞に多いことがその理由として考えられます。

口腔内の衛生を良い環境に保つことが口の健康につながり、新型コロナウイルスの重症化を防ぐ対策になります。